

謹賀新年

本年も、当研究会活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

2025年1月 銀座・ビルエネルギー研究会

蓄熱システムに関する意見交換会を実施しました

2024年11月12日の技術部会終了後、参加者の皆様と蓄熱システムに関する意見交換会を実施いたしました。

司会: 本日は、技術部会において「蓄熱設備を活用したDRの実施」と「ヒートポンプ・蓄熱システムの今後の役割」について、東京電力エナジーパートナー(EP)より発表されました(*)。蓄熱システムの取り巻く環境が大きく変化している中で、現在、蓄熱システムについてどのようなお考えをお持ちかお聞かせいただけませんか？
(*)本資料をご希望の方は事務局までご連絡ください。

建設会社: 現状、蓄熱のランニングコストのメリットが得にくくなっています。蓄熱槽の改修の際、断熱防水工事の補修費用が高くなり、電気料金の割引などでは回収できない状況です。蓄熱をやめ、個別空調に改修する事例も増えています。ここ数年、蓄熱の新規物件はありません。

司会: 厳しい声を聴くことが多くなっていますが、まずは、ビルエネ研・東京電力EPのご意見はいかがでしょう？

柳原ビルエネ研副会長: 経済性のメリットだけでなく、省エネ等の環境性の向上やDR等のメリットの組み合わせの訴求が必要ではないでしょうか。新しい付加価値の発信が必要です。

東京電力EP: カーボンニュートラル推進・再エネの有効活用に向けて蓄熱が必要だと考えています。再エネ活用等を最大化する仕組み・普及方策などを考えたいと思います。

ビルマネジメント会社: 設備に関わる経験が数年で、現在も勉強中です。社内においても蓄熱に関する知識が低いのが実情です。所有施設の中には蓄熱が30年経過したものが数件あり、更新についてはどうするか、これから検討を始める段階です。

東京電力EP: 東京電力EPでも、蓄熱の技術継承は課題となっています。

制御機器会社: 改修等ではDRなどを実証しており、蓄熱の利用を継続していただきたいです。蓄熱の灯を消さないで欲しい。そのためには、新設での導入が必要です。そうすればより活気が生まれます。

東京電力EP: 新設時に蓄熱導入することで長期的な活用が見込めるため、新設支援は重要と認識しており、国や自治体への政策反映活動(補助金などが出る活動)が必要だと考えています。

ビルメンテナンス会社: 蓄熱にメリットがあるとオーナーに対し、説明しづらくなっています。従来の夜間蓄熱やピークカットなどのような明確なメリットがわかる取り組みをしていただきたいです。500棟ほどビル管理をしています。規模は数千㎡から2,3万㎡です。蓄熱があるビルは大規模なものだけでなく、8000㎡程度の中小ビルなどもあります。

東京電力EP: 中小規模ビルの蓄熱は、運転管理の方がいない可能性が高いので、そのようなビルには蓄熱運転(DR)のパターンを試し、クラウドでの制御などが将来的に考えられます。ただ、段階的に進めている状況です。

制御機器会社: 現状の蓄熱コントローラは、夜間蓄熱・昼間放熱がベースになっています。DR用となると開発が必要なので、ますます新規需要が重要になります。

司会: 蓄熱システムの防災面からのメリットの訴求は如何でしょうか。

建設コンサルティング会社: 建設コストがどんどん上昇している昨今では、予算が足りない状況であり、施主がなかなか受け入れないです。

<当研究会・山田顧問より総括をいただきました。>

空調において、技術的には蓄熱が一番良いと思っています。見積・コストが高くなってしまふのは、施工業者に知識・技術がなくなってきたことも一因です。知識・技術をどう継承していくかが課題です。

蓄熱を活用することにより、メリットが出るのは、発電事業者や太陽光を推進した自治体などです。メリットがある事業者は何かを考えなければなりません。目的はあくまでも、省エネやCO2削減であって、蓄熱はあくまで手段です。蓄熱のメリットから考えるのではなく、省エネやCO2削減を目的とし、そのためには蓄熱が一番優れた技術であるというアプローチが必要ではないでしょうか。1次側と2次側を合わせた省エネを進めるためには、蓄熱は良い技術です。

<事務局からのお願い>

当研究会では、蓄熱システムに関する皆様からご意見・ご要望などを募集いたします。以下のメールアドレスまで、お気軽にお寄せいただきますようお願いいたします。

お寄せいただいた内容につきましては、今後の当研究会活動の参考とさせていただきます。

メールアドレス：ginzabeken@tepcoco.jp

第23回経営者懇話会のご案内について

今年度の「経営者懇話会」を以下の通り開催いたします。ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、お繰り合わせの上、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。

1. 日 時：2025年2月4日（火） 午後3時30分から午後6時30分
（午後3時より受付開始）

2. 会 場：シェラトン都ホテル東京 B2階「嵯峨の間」
（東京都港区白金台1-1-50）

3. 内 容：

○第一部：講演会（午後3時30分～午後5時）

・講 師 後藤 尚右 様（株式会社ゴトウ花店 代表取締役会長）

・テーマ 「創業130年六本木の花店が語る日本の洋花店誕生の秘密と世界の花店事情」

○第二部：懇親会（午後5時～）

4. 申込方法：

2025年1月17日（金）までに先日お送りした申込書をメール・FAXにてご返信をお願い申し上げます。事務局へのお電話でも承ります。

5. 会 費：一名様 二千円（銀行振り込み、または当日ご持参）

銀座・ビルエネルギー研究会事務局

〒104-0061 東京都新宿区新宿2丁目14番2号

東京電力エナジーパートナー株式会社

東京本部 営業総括グループ内

編集発行人 清水隆雄 TEL:050-3090-4261

<http://www.ginza-biruenergy.com>